

火災警報音：
「ビュー、ビュー、ビュー、
火事です、火事です」

LED表示灯：連続点滅

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用いただけますようお願い申し上げます。

- この「取扱説明書」はいつでもお読みいただける場所に大切に保管してください。
- この「取扱説明書」は保証書を兼ねております。

仕様	
種別	定温式住宅用防災警報器
型式	電池方式 (DC3V、330mA)、自動試験機能付
型式番号	住警第 26 ~ 27 号
感知方式	熱式 (65°C相当)
電源	専用リチウム電池 (CR-2/3AZ) DC3V
火災警報音	「ビュー、ビュー、ビュー、火事です、火事です」
故障警報音	「ピッピッピッ、故障です」
電池切れ警報音	「ピッ、電池切れです」
公称音圧	70 dB 以上 (1 m)
寸法	Φ 72mm × 34mm (ベース取付時)
質量	約 75g (電池含む)
使用周囲温度	0°C ~ +40°C (結露なきこと)
電池寿命	約 10年

保証書

保証規定

- 保証期間はご購入日より1年間とします。
 - 通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の交換は無償でいたします。
 - 保証期間内においても、次のような場合の交換は有料にさせていただきます。
 - ・お取り扱い上の誤りにより故障または破損した場合
 - ・火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、煙害、ガス害等により故障または破損した場合
 - ・不当な分解修理、改造により故障または破損した場合
 - ・お引越による輸送、移動、衝撃、振動により故障または破損した場合
 - ・保証書の紛失、またはご提示のない場合
 - ・保証書の所定事項に記載漏れ、または字句を書き換えられた場合
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - お客様へ
 - ・アフターサービスについてご不明な場合は、販売店へお問い合わせください。
 - ・本書にお買い上げ日ならびに販売店名の記載のないものは保証の対象となりませんので、ご購入時に必ずご確認ください。
 - ・本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
 - ・この保証書によってお客様の法的権利を制限するものではありません。
- ※ご記入の保証書の控えまたは写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合がありますので、ご了承ください。

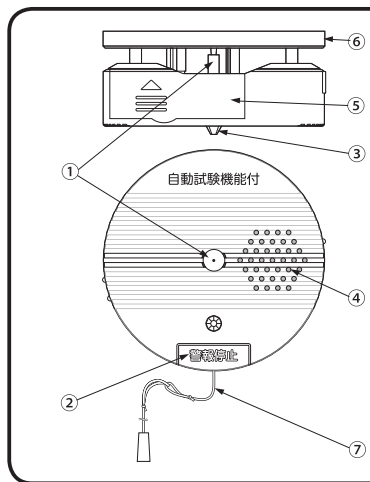
商品名	定温式住宅用防災警報器 熱雷 (ねつらい)
商品番号	SF22、SF22H (スイッチ付)
保証期間	ご購入日より1年間
お買い上げ	年 月 日
お客様	ご住所 お名前 お電話番号 お住居 (店名)
販売店	お電話

Fenwal® 日本フェンワール株式会社
FENWAL CONTROLS OF JAPAN, LTD.
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-10 (教販九段ビル)
TEL(03)-3237-3565 FAX(03)3237-3569

お客様相談窓口
0120-616-250
(受付時間：8～20時、年中無休)

商品に関するお問い合わせは、お客様相談窓口 (フリーダイヤル) までお電話がつかないときはお手数ですが、当社ホームページ <http://www.fenwal.co.jp/> のお問い合わせより防災部門へメールでお問い合わせください。

3 各部の名称と働き



- 熱感知部：表面の小穴を通してセンサが熱を感知します。
- 警報停止 (兼) 確認ボタン：警報停止ボタンと確認ボタンは兼用されています。警報を発しているときに、このボタンを押すことにより警報は停止します。また、警報していないときのボタンを押すと警報が鳴り、動作確認ができます。
- LED表示灯：警報時に点滅します。
- 警報スピーカー：警報時に警報音が鳴ります。
- 電池カバー：電池カバーを取ると、電池取付ができます。
- 取付部：このつばを取付ベースに差し込み、回して取り付けます。(7取付方法を参照ください)
- スイッチ付 (SF22H のみ)：スイッチ付を引くことで、警報停止 (兼) 確認ボタン②と同じ動作をします。

4 ご使用上の注意

警告

- 警報器は絶対に分解しないでください。
- 警報器を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 熱感知部に触れると、感知性能に影響を及ぼしますので、絶対に触れないでください。また、表面の小穴をふさがないようにしてください。火災を感知しなくなります。
- スイッチ付もにぶら下がったり、物を吊るしたり、必要以上の力で引っ張ったりしないでください。警報器が故障したり、天井や壁面から脱落する恐れがあります。

注意

- この警報器は熱を感知して警報するもので、火災の防止装置ではありません。
- 火災などによる損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを開けているときは、ほかの部屋で発生した火災による熱が警報器までとどかず警報を発しない場合があります。
- 警報器の前に、物を置いたり取り付けたらしないでください。警報の遅れの原因となります。
- この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
- 使用状況により、10年経過する前に電池がなくなることがあります。
- 3日間以上留守にされたときは、正常動作を確認してください。(留守中に電池切れ警報があってもわからないため) ⇒ 定期点検の仕方参照
- 使用開始から10年を経過した場合には新しい警報器をお買い求めいただき交換することを推奨します。

1 警報器をご使用になる前に

警報器を正しくお使いいただくために、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

・誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されていることを表しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害が想定される場合を表しています。

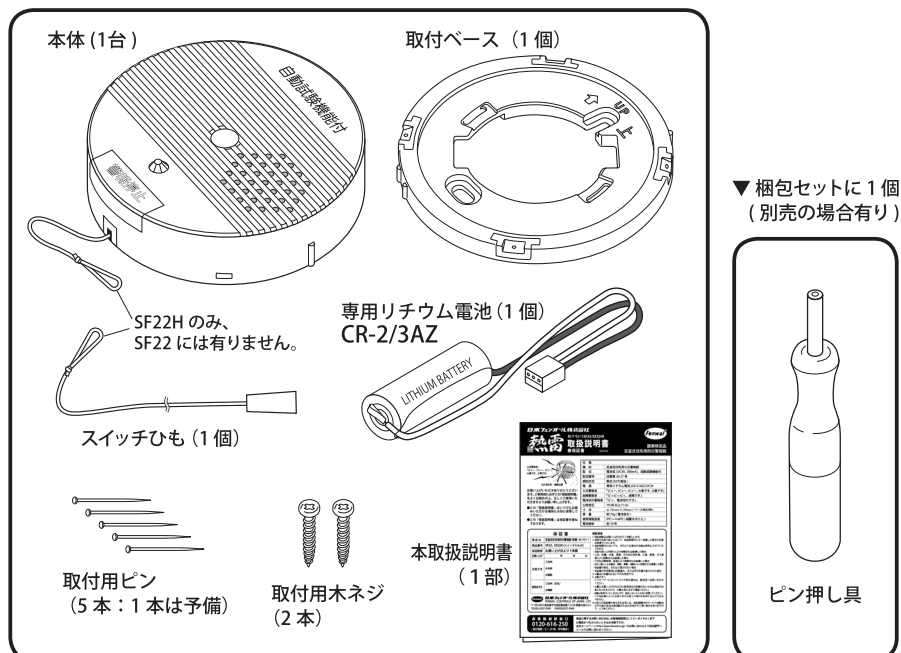
「一般的に禁止」事項を示しています。

「分解禁止」を示しています。

「必ずおこなう」事項を示しています。

2 同梱品のご確認

オプションにより同梱品の内容が異なります。



5 電池の取付方

警告

電池には極性があります。+-をまちがえると電池の発火や警報器の故障の原因となります。

- 電池カバーを外してください。
- 付属している専用リチウム電池のコネクタを本体の電池コネクタの奥まで差し込み、電池を本体の内部に突き当たるまで差し込んでください。
- 電線も内部に入れて電池カバーを取り付けてください。

電線 (黒) 電線 (赤)

リチウム電池のコネクタ

専用リチウム電池 (CR-2/3AZ)

リチウム電池のコネクタを差し込み、電池を装填します。

④確認ボタン (警報停止ボタン) を軽く押す、またはスイッチ付を引いてください。火災警報が鳴れば電池取付完了です。

軽く押しします。

注意

- 指定以外の電池は取り付けしないでください。故障の原因となります。
- コネクタには極性があります。逆に取り付けできません。
- コネクタの接続にドライバーなどを使用したり、電池の電線を強く引っ張ったりしないでください。コネクタ部の破損や電線が断線または短絡する原因となります。
- 電池カバーの取付時に、電池の電線の挟み込みに注意してください。電線が切断または短絡する原因となります。
- 外装フィルムは専用リチウム電池を保護するものです。はがさないでください。

6 取付場所

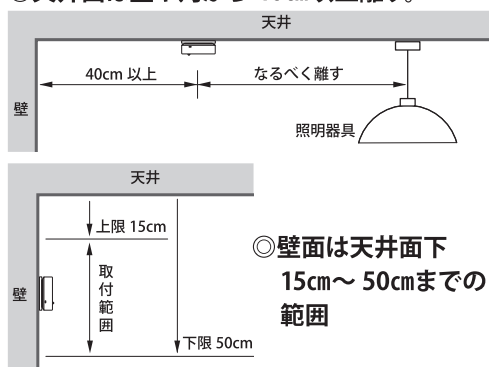
・台所・じん埃、煙等が滞留するおそれのある居室、ガレージ等におすすめします。

注意 設置・維持基準については、各市町村が定める火災予防条例をご確認ください。

確認ボタン（警報停止ボタン）が操作しやすい位置に取り付けてください。

注意 台所以外の階段、廊下、居室、寝室には熱感知式ではなく、煙感知式を設置してください。

◎天井面は壁や角から40cm以上離す。



◎壁面は天井面下15cm～50cmまでの範囲

注意 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。

<p>禁止 天井のはり、たれ壁の近く</p> <p>天井のはり、たれ壁より40cm以上離してください。</p>	<p>禁止 空気の吹き出し口の近く</p> <p>熱が流されてしまうため、感知しないおそれがあります。吹き出し口から1.5m以上離してください。</p>	<p>禁止 換気扇（給気用）の近く</p> <p>熱が流されてしまうため、感知しないおそれがあります。換気扇から1.5m以上離してください。 ※排気専用の場合は問題ありません</p>
<p>禁止 照明器具の真上および近く</p>	<p>禁止 火災でない熱、蒸気などがかる場所</p>	<p>禁止 浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ</p>
<p>禁止 タンス・棚などの真上</p> <p>40cm以上離してください。</p>	<p>禁止 取付場所の温度が0℃以下あるいは40℃以上のところ</p> <p>※冬季の朝方などの冷え込んで0℃を下まわるときは、新しい専用リチウム電池でも電池電圧が低下して、電池切れの警報を発することがありますが本体の不良ではありません。</p>	<p>禁止 屋外・屋側</p> <p>屋外・屋側用ではありません。</p>

10 自動試験（故障警報）

・この警報器には自動試験機能があります。故障を検出すると、約50～100秒おきに「ピッピッピ、故障です」と故障警報音が鳴り、LED表示灯が3回点滅します。

・故障警報中に警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと「ピッピッピ、故障です」と故障警報音が鳴り、LED表示灯が3回点滅し、その後故障警報は約4～8時間停止します。4～8時間後に故障が継続している場合は、故障警報を再度発します。

・故障で警報停止をしているときに、警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと、「ピッピッピ、故障です」と故障警報音が鳴り、LED表示灯が3回点滅し、警報停止中であることが確認できます。

・故障警報を発したら、速やかに警報器を交換してください。

11 電池切れ検出機能

電池の電圧が低下した場合、自動的に電池切れをお知らせします。

◎電池切れを検出すると

・電池切れの警報音が約50～100秒おきに「ピッ、電池切れです」と鳴り、LED表示灯が1回点灯します。

・電池切れの警報中に警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと「ピッ、電池切れです」と鳴り、LED表示灯が1回点灯し、その後電池切れ警報音は約4～8時間停止します。4～8時間後に電池電圧の低下が継続している場合は、電池切れ警報を再度発します。

◎電池切れ警報を発したら

・電池が消耗しているので、新しい警報器をお買い求めください。

12 定期点検（お手入れ）のしかた

警告 点検時は高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご注意ください。

注意 警報音を必要以上に鳴らすと、電池消費量が多くなり、電池寿命が短くなります。

下記の要領で6ヶ月に1度以上、定期点検をしてください（動作確認）。

- ・約1秒間、確認ボタン（警報停止ボタン）を押す、またはスイッチひもを引いてください。
- ・「ビュー、ビュー、ビュー、火事です、火事です」と火災警報音が1度鳴り、LED表示灯が4回点滅すれば正常です。

よく絞ってからふく お手入れをされる場合は布に水または石けん水を浸し、良く絞ってから汚れを拭き取ってください。

つまりを取る 熱感知部の小穴がホコリなどで詰まっている場合は、掃除機などでホコリを取り除いてください。また、この際ドライバー等を入れてセンサを触らないでください。

禁止 お手入れには中性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。警報器表面に傷がつく場合があります。

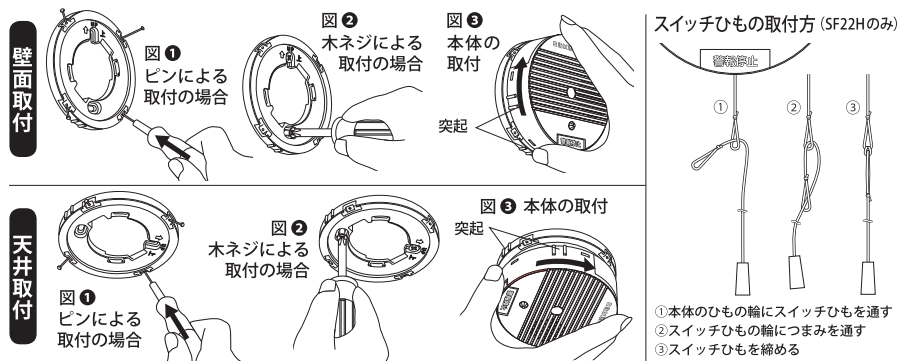
お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しない用に注意してください。

お手入れ後、熱感知部に異物（糸くず・水など）を残さないでください。誤動作の原因となります。

7 取付方法

設置場所を確認して取り付けてください。

壁面取付では、取付ベースの「↑UP（上）」を真上に取り付けます。



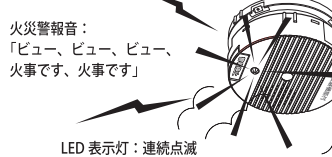
警告 ピンの落下に注意してください。ケガをする恐れがあります。取付は安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してケガをする恐れがあります。

注意 警報器は必ず正しい取付場所に取り付けてください。誤った位置に取り付けると火災による熱を正常に感知できず、誤動作の原因となります。

◎取付後に必ず動作確認を ◎定期点検（お手入れ）のしかたの注意の項を参照ください。

8 警報器の作動

熱を感知すると火災警報音が鳴り、LED表示灯（赤）が点滅して火災をお知らせします。



◎火災の場合 火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。

◎火災でない場合

お願い 次のような場合、警報を発することがあります。安全を十分に確認の上、警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引いて警報を停止させ、室内の換気をしてください。原因が無くなればすぐに警報は止まりますので、むやみに警報器を取り外さないでください。

- ・レンジ、エアコン、ストーブなどの熱が直接警報器にかかったとき

9 警報の止め方

・熱がなくなれば警報は停止します。

・警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと警報は停止します。

・熱が残っている場合は、約5分後に再び火災警報します。

・熱感知部の熱が低くなり、通常の状態に戻るまで火災警報を繰り返します。

13 アフターサービス

① 保証書

保証書は取扱説明書についておりますので、必ず「販売店名、お買い上げ日」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

② 保証期間中に交換を依頼される場合

・保証期間はご購入日から1年間です。

・交換依頼される際の必要な内容 ◆ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号 ◆ご購入日・異常内容

③ アフターサービスについてのお問い合わせ

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点がございましたらご購入の販売店へお問い合わせください。

④ 補修用性能部品等について

本品の本体は、修理交換後の性能維持が困難なため、補修用性能部品は設定していません。（交換が必要な場合は新品をご購入ください。）

●修理・サービスを依頼されるまえに、次の点検および処置をしてください。

状態	点検	処置
火災の熱でないのに火災警報が動作する	警報器の近くに調理の熱が滞留していませんか？	熱を取り除いてください。（調理中で火災警報動作を続ける場合は、換気扇などをまわしてください。）
確認ボタン（警報停止ボタン）を押す、またはスイッチひもを引いても警報が鳴らない	電池が正しくセットされていますか？ 電池が切れていませんか？	電池の⊕⊖を確認して正しくセットしてください。 電池が消耗しているので、新しい警報器をお買い求めください。
約100秒おきに「ピッピッピ、故障です」と鳴る	警報器の故障です。	警報器を速やかに交換してください。
約100秒おきに「ピッ、電池切れです」と鳴る	電池切れのお知らせです。	電池が消耗しているので、新しい警報器をお買い求めください。

●専用リチウム電池：CR-2/3AZ（パナソニック（株）製）

14 廃棄する場合

●廃棄する場合は、内蔵電池を取り外し分別廃棄してください。本警報器のリチウム電池は充電できない「一次電池」ですので、一般の不燃ごみとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は各自治体の基準によります。